

WIDEX **UNIQUE™**

取扱説明書  
**ワイデックス UNIQUE™**

U-PA  
RIC 補聴器



**WIDEX®**  
HIGH DEFINITION HEARING

# お客様の WIDEX®補聴器

(補聴器販売店で記入します)

補聴器シリーズ：

---

## プログラム

---

- |                                 |  |
|---------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 万能     | <input type="checkbox"/> オーディビリティエクステンダー |
| <input type="checkbox"/> 静寂     | <input type="checkbox"/> オーディビリティエクステンダー |
| <input type="checkbox"/> 交通機関   | <input type="checkbox"/> オーディビリティエクステンダー |
| <input type="checkbox"/> 都会     | <input type="checkbox"/> オーディビリティエクステンダー |
| <input type="checkbox"/> パーティ   | <input type="checkbox"/> オーディビリティエクステンダー |
| <input type="checkbox"/> ミュージック | <input type="checkbox"/> オーディビリティエクステンダー |
- 

## 特別プログラム

---

- |                             |  |
|-----------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> ゼン | <input type="checkbox"/> オーディビリティエクステンダー |
|-----------------------------|--|
-

## 特別プログラム

---

電話

オーディビリティエクステンダー

---

## スマートトグルプログラム

---

ゼン+

オーディビリティエクステンダー

---

### 付記

表に記載されているプログラム名は既定の名前です。他の名前を使用する場合は、表に新しい名前を記入してください。これにより、補聴器でご利用可能なプログラムがいつでも分かります。

### 付記

補聴器のご使用前には、この小冊子および「ワイデックス補聴器用イヤセット」小冊子をよくお読みください。

# 目次

<b>ワイデックス補聴器</b> .....	<b>6</b>
ワイデックスによるこそ.....	6
重要な安全情報.....	8
<b>補聴器</b> .....	<b>10</b>
ご使用にあたって.....	10
使用目的.....	10
電池.....	10
音によるお知らせ.....	12
左右補聴器の識別.....	13
補聴器電源のオン・オフ.....	14
補聴器の装着と取外し.....	14
音の調整.....	15
プログラム.....	16
電話の使用.....	19
<b>お手入れ</b> .....	<b>20</b>
用具.....	20
補聴器のお手入れ.....	20
<b>アクセサリ</b> .....	<b>22</b>
<b>故障と思われるときの対処方法</b> .....	<b>23</b>
<b>規制情報</b> .....	<b>25</b>

EC 指令.....	25
FCC/IC ステートメント.....	26
<b>記号.....</b>	<b>30</b>

# ワイデックス補聴器

## ワイデックスによろこそ

新しい補聴器をご購入いただき有難うございます。

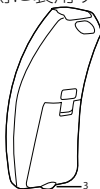
慣れるまでに少し時間がかかるかもしれませんが、補聴器を定期的にお使いください。使用する時間を増やしていくことで、より補聴器の効果を実感されるでしょう。

### 付記

この取扱説明書に記載されている補聴器、イヤセット、付属品の図は、お客様のものとは異なる場合があります。また必要が生じた場合、弊社はこの取扱説明書の記載内容を変更する場合があります。

## 各部の名称









図は、イヤセットを除いた補聴器本体を表しています。イヤセットに関しましては、イヤセットの取扱説明書をご参照ください。イヤセットは、イヤワイヤ、イヤチップで構成される、耳の内側に装着する補聴器の一部です。




1. マイク入音口
2. 電池ホルダー (オン/オフ機能)
3. 爪グリップ


## 重要な安全情報


補聴器の使用を開始する前にこれらのページを慎重にお読みください。


-  補聴器および電池は口に入れたり、不適切な使用をする  
と非常に危険です。怪我や、思わぬ事態になりかねませ  
ん。万一誤って飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談  
ください。
-  補聴器はお使いにならない時は取り外してください、取  
り外しておくことで、外耳道が換気され、耳の感染症を  
防ぎます。
-  耳の感染症が疑われる場合、耳鼻科医師に直ちに連絡し  
てください。
-  シャワーを浴びたり、泳いだり、ヘアドライヤを使った  
りする前に補聴器を取り外してください。
-  香水、スプレー、ジェル、ローション、クリームを付け  
る際には、補聴器を着けないでください。
-  電子レンジで補聴器を乾かさなでください。補聴器が  
破損します。
-  他人の補聴器を絶対に使用しないでください。また、他  
人がお客様の補聴器を使用しないようにしてください。  
それによりお客様の聴覚が損傷する恐れがあります。
-  鉱山などの爆発性ガスが存在する可能性がある環境では  
補聴器を絶対に使用しないでください。




 補聴器、その部品、付属品および電池を子供の手の届かないところに保管してください。

 自分自身で補聴器を開いたり、修理したりしないでください。補聴器の修理が必要な場合は、販売店に相談してください。

 補聴器には無線通信技術が導入されています。補聴器を使用している環境には常に注意してください。何らかの規制が適用される場合には、それらを順守するよう注意を払ってください。

 補聴器を極度の高温または高い湿度にさらさないでください。濡れたり汗を多くかいた場合は直ちに乾燥させてください。

 CT や MRI などの検査を受ける際には、事前に補聴器を外してください。補聴器から大きな音が生じたり、補聴器を破損することがあります。IH 調理器など電磁波を発生する機器の影響で、雑音や歪みを生じることがあります。

補聴器の保管と輸送は、温度 $-20^{\circ}\text{C}\sim+55^{\circ}\text{C}$  ( $-4^{\circ}\text{F}\sim 131^{\circ}\text{F}$ )、湿度 10%~95% rH の環境で行ってください。

最高温度  $60^{\circ}\text{C}$  ( $140^{\circ}\text{F}$ )、湿度 10%~95% rH の環境での保管、輸送は短期間（最長 2 週間）に限られます。

補聴器は  $0^{\circ}\text{C}$  ( $32^{\circ}\text{F}$ ) ~  $50^{\circ}\text{C}$  ( $122^{\circ}\text{F}$ ) で作動するように設計されています。

補聴器の詳細については <http://global.widex.com> をご覧ください。

# 補聴器

## ご使用にあたって

この補聴器は、聴力低下が微小（16 dB HL）から高度（85 dB HL まで）の範囲にある方を対象とした機器です。

補聴器の調整にあたっては、専門的教育を受けた補聴器技能者・言語聴覚士・医師により処方されることを推奨しません。

## 使用目的

この補聴器は、増幅された音により日常生活での聞こえを補う機器です。モデルによっては、背景音に楽音やノイズを再生し、静かな環境でリラックスするためのゼンプログラムを使用できます。

## 電池

お客様の補聴器には、**空気電池 PR536（10 タイプ）**をご利用ください。

使用推奨期限に注意し、販売店が推奨する電池を常にお使いください。

## 付記

電池に汚れや残留物が全くないことを確認してから、補聴器に挿入してください。電池の状態により補聴器の動作に影響する場合があります。



補聴器の電池は、爆発する可能性があるため、再充電しないでください。



消耗した電池を補聴器に入れたまま保管しないでください。液漏れにより、補聴器が壊れる恐れがあります。



パッケージの記載に従い、使用済み電池を廃棄してください。使用推奨期限にご注意ください。

## 電池電圧低下のお知らせ

電池残量が少なくなってくると、補聴器はお知らせ音で知らせます。また、電池が突然に消耗した場合、お知らせ音を発しないことがあります。このお知らせ音が鳴ってから補聴器がどのくらい使用できるかは個々に異なりますので、常に予備の電池を持ち歩くことをお勧めします。

## 電池の交換

電池を交換するには、次の手順を実施してください。



新しい電池のシールを取り外し、粘着性の残留物が残っていないことを確認します。約 60 秒間「通気」し、電圧を安定させます。

爪グリップを使用し、ゆっくりとバッテリードアを開き、古い電池を取り外します。



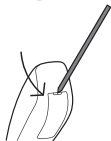
次に、図のように、方向に注意して新しい電池をホルダーに入れます。ホルダーを閉じます。ホルダーが閉まりにくい場合、電池が正しく挿入されていません。補聴器を数日間ご利用にならない場合は、電池を取り外してください。

### 付記

補聴器を落とさないでください。電池を交換する際には補聴器を柔らかい布の上に置いてください。

### 誤飲防止電池ホルダー

小さなお子さまが補聴器を使用する場合には、電池を取り出して誤って口に入れてしまうことを防ぐために、誤飲防止電池ホルダーをご利用いただけます。



電池ホルダーを開くには、提供される専用ツールを使用し、図に示される手順で行ってください。

### 音によるお知らせ

特定の機能が有効になったこと、およびプログラムを変更したことを補聴器は音でお知らせします。お客様のニーズや好みに応じて、音声によるメッセージまたはトーン（機械音）にすることができます。

<b>プログラム 1</b>	メッセージ/1 回の短い音 ピッ
<b>プログラム 2</b>	メッセージ/2 回の短い音 ピッピッ
<b>プログラム 3</b>	メッセージ/3 回の短い音 ピッピッピッ
<b>プログラム 4</b>	メッセージ/1 回の長い音と 1 回の短い音 ピーッピッ
<b>プログラム 5</b>	メッセージ/1 回の長い音と 2 回の短い音 ピーッピッピッ
<b>ゼン+</b>	メッセージ/トーン

お知らせ音を無効にすることも可能です。販売店にご相談ください。

## 通信相手未検出時の警告

(440 シリーズのみ)

両耳装用で左右補聴器間の通信が途切れた場合、補聴器が警告を発する機能をオンにすることができます。言葉によるメッセージが聞こえます。

## 左右補聴器の識別

右耳の補聴器には赤いマークが付いています。左耳の補聴器には青いマークが付いています。

## 補聴器電源のオン・オフ



電池を挿入して電池ホルダーを閉じると、補聴器の電源が入ります。補聴器からは、電源が入ったことを知らせるお知らせ音が聞こえます（お知らせ音を無効に設定している場合を除く）。

電池ホルダーを押し下げると、電源は切れます。

### 付記

補聴器を手で覆って補聴器の電源のオンとオフを確認することもできます。補聴器を手で覆った時にハウリング（ピーツという音）が起きたら、補聴器の電源が入っています。

補聴器を使用しない時は、必ず電源を切ってください。

## 補聴器の装着と取外し



1. チューブの下側を持ちながら、耳せんを外耳道に挿入します。もう片方の手で耳を後方、上方向に引っ張ると装着しやすくなります。

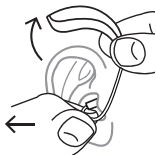
2. 補聴器を耳の後ろに掛け、補聴器が耳と頭の間にはっきりと収まるようにします。

様々なタイプのイヤセットを使用し、補聴器を装着することができます。イヤセットの詳細については、別冊の取り扱い説明書をご参照ください。

### 付記

イヤセットが耳に合わなかったり、耳の皮膚が赤くなったり違和感などの異常を感じる場合は、販売店にご相談ください。

### 補聴器の取り外し



初めに補聴器を耳の後ろから取り外します。

チューブの下側を持ち、耳せんを外耳道から注意深く引き出します。

### 音の調整

補聴器は、周囲の音の環境に応じて出力音を自動的に調整します。

リモコンをお使いの場合、お客様のニーズやお好みに応じてより快適にする、あるいはより聴き取りやすくするように手で調節できます。詳しくは、販売店に相談してください。

補聴器を両耳でお使いの場合、左右両方の補聴器の音量が同時に調節されます。

リモコンのボリュームボタンを操作する度に、お知らせ音が聞こえます。(お知らせ音を無効に設定している場合を除く)。音量が最大または最小に達すると、「ピー」または「プー」という長い音が聞こえます。

補聴器を消音にするには、以下の手順を実施してください。

- リモコンのボリュームボタンの下側を押します。「プー」という音が聞こえても押し続けると、補聴器の音を消すことができます。

**消音にした後、再度音を出すには、**

- ボリュームボタンの上部を押します、または
- プログラムを変更します

補聴器の電源を切ったり、プログラムを変更すると、音量は元に戻ります。

## プログラム

プログラム	用途
万能	日常用プログラム
静寂	静かな環境で聴くためのプログラム
交通機関	車、列車などの騒音がある状況で聴くためのプログラム



プログラム	用途
都会	音の変化が多い状況で聴くためのプログラム（スーパーマーケット、騒音がある職場など）
パーティ	多くの人が同時に話している状況で聴くためのプログラム
ミュージック	音楽を聴くためのプログラム

特別プログラム	用途
ゼン	ストレス軽減を目的とした機能。チャイムや鐘の音を奏でます
電話	電話の会話を聴くために最適なプログラム
ゼン+	ゼンと同様ですが、様々なタイプのトーンやノイズを聴くことができます

#### 付記

リストにあるプログラム名は既定のもので、販売店では、あらかじめ選択されたリストにあるプログラム名を選択することもできます。これにより、それぞれの状況に合ったプログラムをより簡単に選択できます。

お客様の聴力に応じ、販売店ではオーディビリティエクステンダーの機能を有効にすることができます。この機能でメリットが得られるかどうかについては販売店にお尋ねください。

後にお客様の生活環境の変化に応じて、プログラムの組み合わせを変更することもできます。プログラムの追加や変更に関しましては、販売店にご相談ください。

## ゼンプログラム

補聴器には、ゼンと呼ばれるユニークなプログラムが搭載されている場合があります。これは、背景に楽音(または広帯域ノイズ)を作り出します。



音の大きさの減少、許容範囲外の音、音声が明確ではない、耳鳴りの悪化を感じた場合は、聴覚専門医に相談してください。



ゼンプログラムを使用すると、会話などを含む通常の音声が妨げられることがあります。そのような音を聞くことが重要な場合は、このプログラムを使用しないでください。そのような状況では、補聴器をゼン以外のプログラムに切り替えてください。

## プログラムの切替え

プログラムを切替えるには、リモコンのプログラムボタンを押します。

**ゼン+**

リモコンのプログラムボタンを1秒以上長押しするとゼン+プログラムに切り替わります。その後、プログラムボタンを短く押すと、設定されているゼンスタイルに順番に切り替わります。ゼン+プログラムを終了する場合は、リモコンのプログラムボタンを1秒以上長押しします。

## 電話の使用

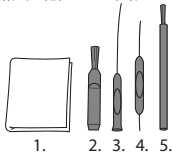


電話を使用する際には、受話器を直接耳に向けるのではなく、耳の上に向けて音が大きく聞こえるように受話器の位置を調整してください。

# お手入れ

## 用具

補聴器には下記のお手入れ用具が同梱されています。



1. やわらかい布
2. ブラシ
3. 耳垢除去用具（長）
4. 耳垢除去用具（短）
5. 電池取り出し用磁石

## 補聴器のお手入れ

補聴器の性能を維持するために、耳垢や汚れを取り除いて常にきれいな状態にしてください。



ご使用後は、やわらかい布で補聴器を拭いてください。  
マイクの入音口が詰まっている場合は、販売店にご連絡ください。

補聴器が濡れたり、汗を多くかいたりした場合は、補聴器を直ちに乾かしてください。補聴器を常に乾燥させ清潔に保つために、ワイテックス Dry-Go (ドライゴー) などの乾燥機を使用する方もいます。詳しくは、販売店にご相談ください。

電池ホルダーを開けたままにして補聴器を通気させます。イヤセットのお手入れ方法については、イヤセットの取扱説明書を参照してください。



補聴器のお手入れに液体や殺菌剤を使用しないでください。



使用後は、補聴器をお手入れし、破損していないかどうかを確認してください。補聴器を着用中に破損して、外耳道に小さい破片が残った場合、医師に連絡してください。決して破片を自身で取り出さないでください。

## アクセサリ

別売りの補聴援助用アクセサリを使用することができません。アクセサリを使用してメリットが得られるかどうかについては販売店にご相談ください。

名称	用途
RC-DEX	リモコン
TV-DEX	テレビおよびオーディオの受聴用
PHONE-DEX	シンプルな固定電話用（日本国内未対応）
FM+DEX	FM 受信機、外部音響機器からの信号を補聴器へ伝達
UNI-DEX	補聴器を携帯電話に接続するために使用
CALL-DEX	携帯電話・スマートホンを無線で接続
COM-DEX	Bluetooth 経由でスマートホンや他の機器に無線で接続
COM-DEX リ モートマイク	特定の話者の音声を聞き取りやすくします

一部の国でのみの販売です。

## 故障と思われるときの対処方法

補聴器が作動しなくなった、または期待通りに機能しない場合は、このページに記載のアドバイスを参照してください。問題が解決しない場合は販売店にご相談ください。

問題点	考えられる要因	解決策
補聴器から音が聞こえない	補聴器の電源が入っていない	電池ホルダーがしっかり閉じているか、確認してください
	電池の消耗または電池不良	新しい電池を入れて試してください
補聴器の音が小さく感じる	外耳道に耳垢が詰まっている	耳鼻科医にご相談ください
	聴力が変化した	耳鼻科医にご相談ください
ピーツというハウリング音が常に聞こえる	外耳道に耳垢が詰まっている	耳鼻科医にご相談ください
補聴器が両方同時に動作しない	補聴器間の通信が途絶えた	補聴器の電源を入れ直してください

問題点	考えられる要因	解決策
音量調節やリスニングプログラムの切り替えをしても補聴器が反応しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 装置が通信圏外で使用されている</li> <li>b. 近くに強い電波干渉がある</li> <li>c. 装置と補聴器がマッチングされていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 装置を補聴器に近づけてください</li> <li>b. 電波干渉する機器から離れます</li> <li>c. 装置が補聴器とマッチングされているか、販売店に確認します</li> </ul>
補聴器からの音声「途切れる」(オン/オフ)または伝送補聴器から音声「聞こえない(ミュート)」。	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 片方の補聴器のバッテリーが消耗している</li> <li>b. 近くに強い電波干渉がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 片方または両方の補聴器のバッテリーを交換します</li> <li>b. 電波干渉する機器から離れます</li> </ul>

## 付記

この対処方法はこの補聴器本体のみに該当します。イヤセットについては、「ワイデックス補聴器用イヤセット」をお読みください。問題が解決しない場合は販売店にご相談ください。



# 規制情報

## EC 指令

### 指令 2014/53/EU

ここに、Widex A/S は、U-PA が指令 2014/53/EU の基本要件およびその他の関連規定に準拠していることを宣言します。

U-PA には、10.6 MHz、-54 dB $\mu$ A/m @10 m の無線送信機が搭載されています。

2014/53/EU に基づく適合宣言のコピーは以下に掲載されています：

<http://global.widex.com/doc>



N26346

## 処分に関する情報

補聴器やその付属品、電池を通常の廃棄物として処分しないでください。

補聴器やその付属品、電池については、地区の定める電気・電化製品の処分方法に従って処分するか、購入元へ処分を依頼してください。

## FCC/IC ステートメント

FCC ID: TTY - UPA

IC: 5676B-UPA

Federal Communications Commission Statement

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

NOTE:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be

determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

NOTE:

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

Changes or modifications to the equipment not expressly approved by Widex could void the user's authority to operate the equipment.

Industry Canada Statement / Déclaration d'industrie Canada

Under Industry Canada regulations, this radio transmitter may only operate using an antenna of a type and maximum (or lesser) gain approved for the transmitter by Industry Canada.

To reduce potential radio interference to other users, the antenna type and its gain should be so chosen that the equivalent isotropically radiated power (e.i.r.p.) is not more than that necessary for successful communication.

This device complies with Industry Canada licence-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause interference, and
- (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Conformément à la réglementation d'Industrie Canada, le présent émetteur radio peut fonctionner avec une antenne d'un type et d'un gain maximal (ou inférieur) approuvé pour l'émetteur par Industrie Canada.

Dans le but de réduire les risques de brouillage radioélectrique à l'intention des autres utilisateurs, il faut choisir le type d'antenne et son gain de sorte que la puissance isotrope rayonnée équivalente (p.i.r.e.) ne dépasse pas l'intensité nécessaire à l'établissement d'une communication satisfaisante.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :

- (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
- (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

## 記号

ワイテックス株式会社が製造販売する管理医療機器の表示（ラベルや取扱説明書など）に共通して使用される記号

### 記号 タイトル/説明

---



#### 製造元

製品の製造者名、製造所の所在地。製造年月も記載される場合があります。

---



#### カタログ番号

製品のカタログ（品目）番号

---



#### 取扱説明書を参照

取扱説明書には安全に関する重要なお知らせ（重要/注意）が記載されていますので、製品のご使用前に必ずお読みください。

---



#### 警告

警告記号を伴う事項は、製品のご使用前に必ずお読みください。

---



#### WEEE マーク

「一般廃棄物ではありません」製品の廃棄については、危険物質があるために環境や人の健康を害するリスクを防ぐため、指定されたりサイクル・回収場所に廃棄してください。

---

**記号**    **タイトル/説明**

---



**CE マーク**

製品は、CE マークに関する欧州指令によって定められた要件に適合しています。

---



**RCM マーク**

製品は、オーストラリアとニュージーランド市場に供給される製品に対する電気安全、EMC、無線スペクトル規制要件に準拠しています。

---



**電磁波による干渉**

製品の近くでは電磁波による干渉が起きる可能性があります。

---

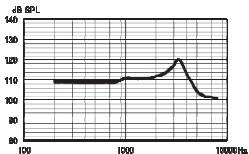
## 電気音響的性能

電気音響的性能は、JIS C 5512-2000 による。

		U-PA-S
規準周波数		2500Hz
電池の種類		PR536 1.4V
90dB最大出力音圧レベル (※)	500Hz	110 dB SPL
	2500Hz	114 dB SPL
	ピーク	125 dB SPL 以下
最大音響利得 (50dB SPL入力)	2500Hz	61 dB
等価入力雑音レベル (※)		27 dB SPL 以下
電池の電流 (※)		1.1mA 以下
全高調波ひずみ (※)	500Hz	2.0% 以下
	800Hz	2.0% 以下
	1600Hz	2.0% 以下

(※) テストモード1で測定

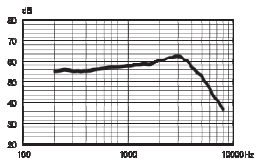
90dB最大出力  
音圧レベル  
周波数レスポンス(※)



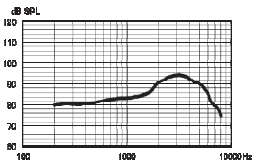


最大音響利得の  
周波数レスポンス

入力:50dB SPL

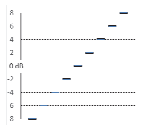


規準  
周波数レスポンス(※)



利得調整器の変化特性

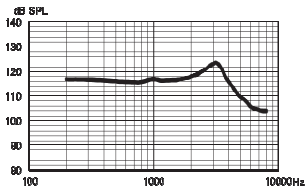
(リモコン使用の場合)



		U-PA-M
規準周波数		2500Hz
電池の種類		PR536 1.4V
90dB最大出力音圧レベル (※)	500Hz	117 dB SPL
	2500Hz	121 dB SPL
	ピーク	128 dB SPL 以下
最大音響利得 (50dB SPL入力)	2500Hz	68 dB
等価入力雑音レベル (※)		27 dB SPL 以下
電池の電流 (※)		1.2mA 以下
全高調波ひずみ (※)	500Hz	3.0% 以下
	800Hz	3.0% 以下
	1600Hz	3.0% 以下

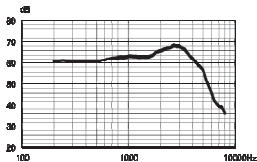
(※) テストモード1で測定

90dB最大出力  
音圧レベル  
周波数レスポンス(※)

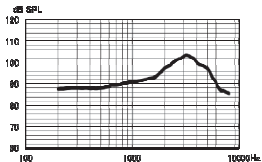


最大音響利得の  
周波数レスポンス

入力:50dB SPL

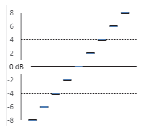


規準  
周波数レスポンス(※)



利得調整器の変化特性

(リモコン使用の場合)



ワイデックス株式会社  
製造販売元 ワイデックス株式会社  
〒131-0034 東京都墨田区堤通 1-19-9  
リバーサイド隅田セントラルタワー  
TEL 0120-332-604 FAX 0120-332-394  
<http://japan.widex.com/>  
許可番号 13B2X00020 管理医療機器



WIDEX A/S

Nymoellevej 6, DK-3540 Lyngø, Denmark  
[global.widex.com](http://global.widex.com)



取扱説明書番号:  
9 514 0318 016 #02  
発行:  
2017-08

